

# 平成 28 年度 学校評価報告書

1 学期末、2 学期末の保護者懇談会の折には、「学校評価保護者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。「生徒アンケート」「教職員自己アンケート」の結果と併せて、川北中学校の現状の分析をし、今後の方策について教職員で話し合いました。そして、2 月 16 日（木）に学校関係者評価委員会を行い、評価委員の方からご意見をいただきました。

学校関係者評価委員 ・本校育友会会長 ・本校育友会母親代表 ・町社会教育委員長  
・町教委いじめ対応アドバイザー ・校区小学校教頭代表

取り組みの現状と今後に向けて

## ①確かな学力の向上

- ・ 県基礎学力調査及び全国学力学習状況調査においては良好な結果を維持している。しかし、読解力がやや弱く、問いを正確に把握できていない面もある。全教科を通しての読解力の向上に取り組んでいく。
- ・ 家庭学習の習慣化に関しては、肯定的な回答が生徒 87%に対して保護者 75%と開きがある。学習計画表やテスト通知票にコメントをもらう取組など、工夫して学校と家庭とが連携して家庭学習を定着させていく。
- ・ 学習規律はほぼ確立されている。また、全教職員が意識して授業改善に取り組んでいる。今後さらに「主体的、対話的な深い学び」を追求した学校研究を推進していく。

## ②豊かな心の育成

- ・ 「学校に行くのは楽しいと思う【生徒】」「子どもは楽しく学校に行っている【保護者】」ともに、肯定的な回答が 90%を超える高い割合である。
- ・ 学校行事や生徒会の取組、道徳授業等を通して自尊感情や思いやりの心を大切にしたりした取組を進めてきており、生徒アンケートの結果、多くの項目で 12 月の結果が 7 月の結果を上回った。引き続き、生徒の心を育てる取組を工夫して実践していく。

## ③健康な心身づくりの推進

- ・ 部活動や社会スポーツの活動への取組に関しては、生徒、保護者ともに 90%を超える高い割合で肯定的な回答をいただいた。今後も家庭との連絡を密にし、家庭・地域の方の協力をいただきながら、教育的な指導を大切にしていく。
- ・ 教育相談に関しては、今後も生徒理解と親身な対応に努め、相談活動を充実させていく。

## ④家庭・地域との連携

- ・ メール配信、Web ページの更新、各種おたよりで積極的な情報発信に努めることができた。今後も引き続き家庭・地域との連携をめざして情報提供に努める。

学校関係者評価委員の方から、以下のようなご意見をいただきました。

- 今後も、勉強の苦手な生徒への指導を継続して行って下さい。
- 高校に進学したり、社会に出ていろいろな人と接したときの人間的強さも育てて下さい。
- 親が子どもとの接し方を学んだり、親同士の情報交換の場を増やしていくと良い。

今後とも川北中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。